

# イギリス国内フェリー ステナライン乗船記

近藤貴行

2024年7月に、イギリスリバプールから北アイルランドのベルファストへ、さらにベルファストからスコットランドのケイルンライアンへと、ステナラインのフェリーに乗船した。イギリス国内航路だが、スウェーデンが本社のステナラインが運航している。

## ① 予約・乗船

予約はステナラインのHPで直接行なった。当日ターミナルで、受付・発券。私は自転車を持っての乗船だが、リバプール発は自転車はターミナルに預けて徒步乗船客と一緒にシャトルバスに乗って車両甲板に入る。ベルファスト発は自転車で車両甲板に乗り込む。

## ② リバプール発

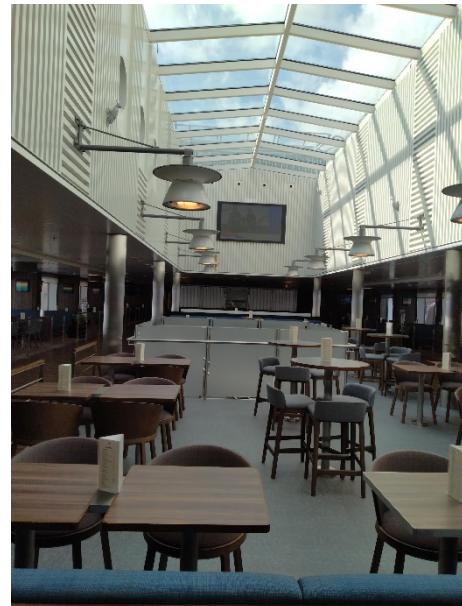
10時30分発の6時間の航海。そのためキャビンは取らず、リクライニングシート席を利用。

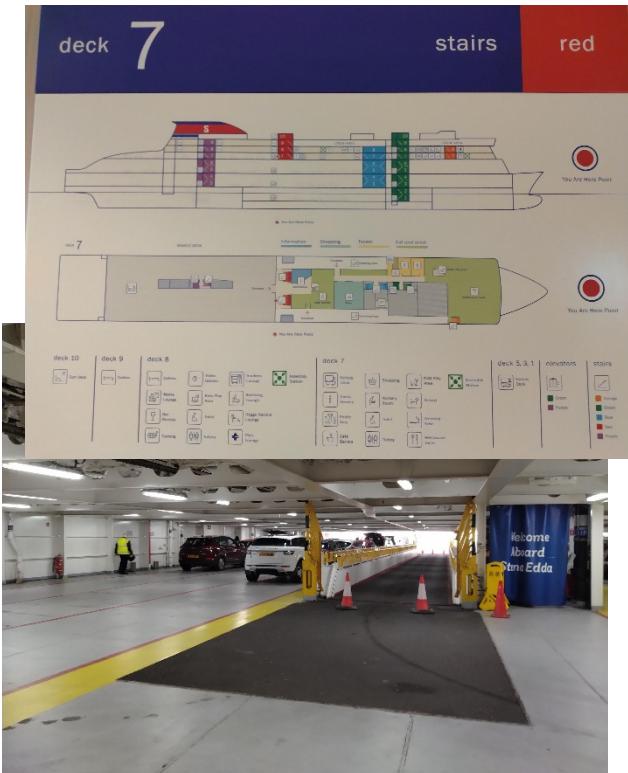
国内便とあって、トラックが多い。徒步客も、まあまあいたようだ。

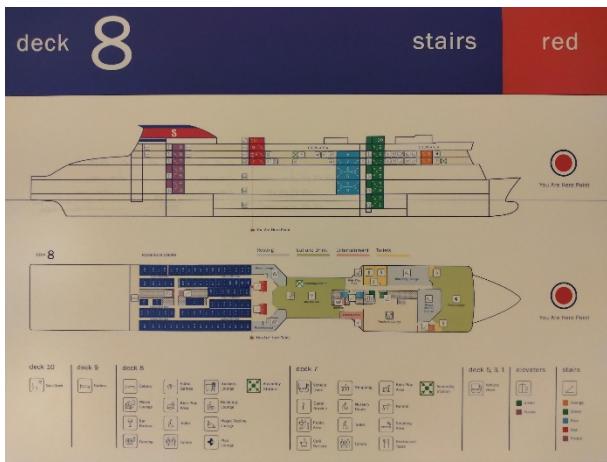
船は2020年に中国建造の、Stena Edda。船の後部であっても、エンジンの振動は感じない。

この船は、昼便夜便と一日二回走っているが、パブリックスペースはそれほど多くない。ハンバーガーなど軽食中心のレストランが 1 軒、他にはバーがあるだけだ。

また、犬は日本と違い、自由に船内を連れて歩いている。







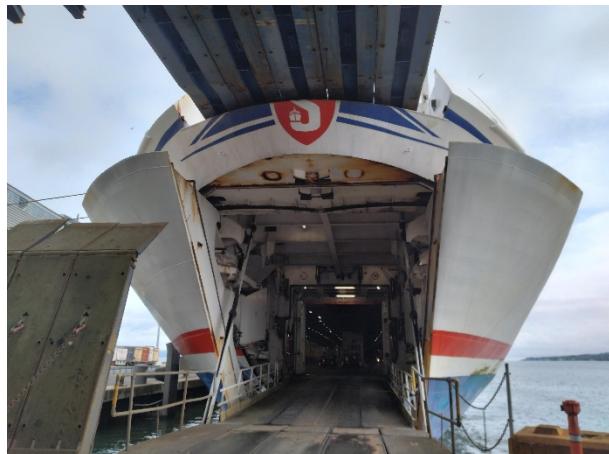
### ③ ベルファスト発

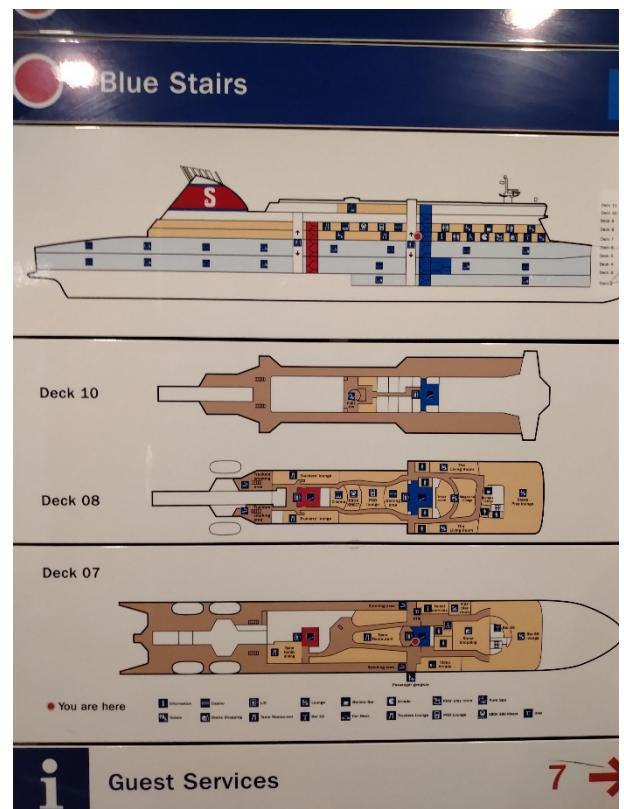
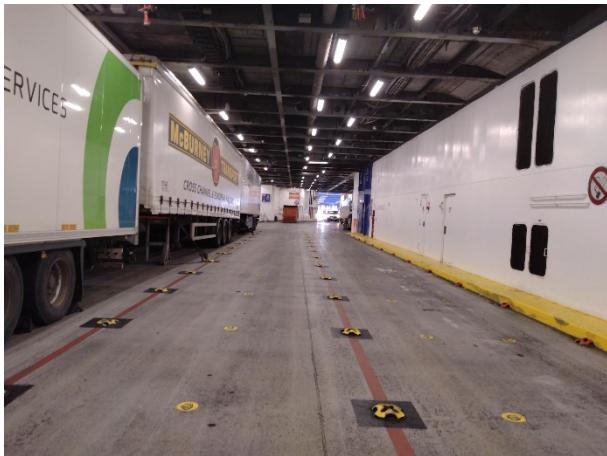
こちらは、11時30分発の2時間半の航海。ステナスーパー・フェーストという名なので、高速船かと思いきや、在来船だった。この航路は一日何便もあるのだが、平日にも関わらず、満船状態。短時間の航海のため、ほとんどの人はキャビンや指定席を

取らず、レストランやラウンジなどのパブリックスペースで過ごすのだが、まったく空席なしの状態だった。

この船は、船首から乗船して船尾から下船。1990年代のバルト海での航海中に、船首から車両甲板に水が入り沈没した海難事故の対策か、船首ランプは日本より頑丈な造りに見えた。

なおケイルンライアン港は、町から遠く離れておりシャトルバスもあるように見えなかつたため、車なしでは乗船は難しそうだ。





<b>Port of Registry</b>	Belfast
<b>Owner</b>	FPG Shipholding Bermuda Co. Ltd.
<b>Built by</b>	Howaltswerke Deutsche Werft (HDW) AG, Kiel, Germany
<b>Delivered</b>	May 2001
<b>Length (overall)</b>	203.40 metres
<b>Breadth (beam)</b>	25.0 metres
<b>Draft</b>	6.6 metres
<b>Gross Tonnage</b>	30,285
<b>Net Tonnage</b>	9,085